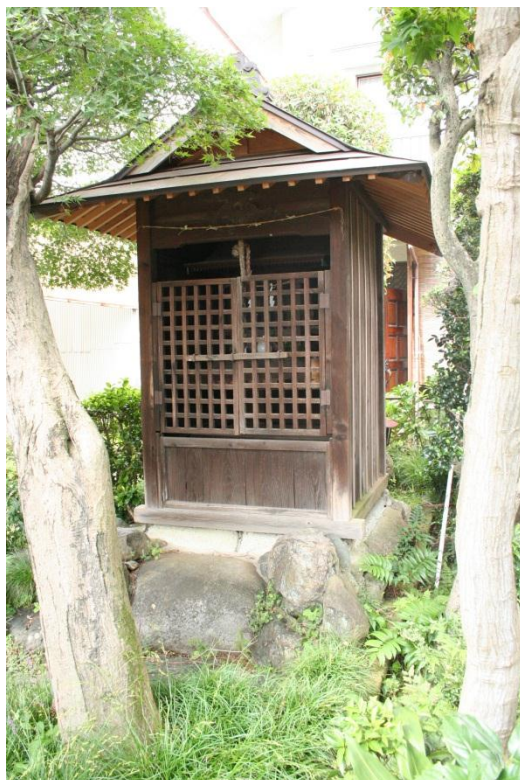


曾我家住宅稲荷社

本町通りの表門を入った正面にあり、主屋の南に位置する屋敷社である。東を正面とした木造の一間社流造で、二軒繁垂木^{にけんしげたるき}。屋根は板葺、浜床を設ける。向拝虹梁^{こうはいこうりょう}上に龍、頭貫木鼻^{かしらぬききばな}に獅子の精緻な彫物を飾る。覆屋は正面入母屋で、背面切妻造の鉄板葺で、^{おおいや}両開きの格子戸をはめ込む。床裏の墨書「慶応三年歳在 丁卯十一月十有五日 遷宮書上氏」により建築年が慶応三年（1867）と特定できる。



稲荷社覆屋



稲荷社